

学校適正配置に関する意見交換会(要旨)

黒字＝参加者の意見等

赤字＝市・教育委員会の回答等

青字＝市・教育委員会の補足説明等

内容区分	白岩	桧木内	西明寺	生保内	神代	角館
説明・意見交換の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ●議論のスピードを上げて欲しい。 →PTA、保護者会等から要望があれば随時出向いて意見交換を行う。 ●平成28年に学校適正配置研究検討委員会が策定した「学校適正配置に関する提言書」の「統合の検討に入るべき状況」に白岩小学校が該当するが、令和8年度の計画策定まで統合は行わないのか。 →令和8年度までに全市的な計画を策定するが、地域の総意があれば計画策定前に個別の統合も検討する。 		<ul style="list-style-type: none"> ●議論のスピードを上げて欲しい。 ●市民を巻き込んだ意見交換にしていく必要がある。 ●開催の周知を工夫して欲しい。(主要施設へポスター掲示など) 	<ul style="list-style-type: none"> ●議論のスピードを上げて欲しいが、時間をかけて進めなければいけない面もある。 ●PTAで意見交換を行った方が参加者が多く意見交換もしやすいのでは。 →令和5年度は、4月に園保護者会、7月にPTA、秋頃に一般市民を対象に意見交換会を行いたい。 ●地域の関心を高め、輪になるなど話しやすい雰囲気づくりも必要。 ●開催の周知を工夫して欲しい。(緊急メールの活用など) ●説明を動画にし、スマホで説明を見れるようにしてはどうか。 ●保護者の賛成意見が、地域では反対ということも考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●学校の保護者よりも園児の保護者の方が危機感を持っているのではないかと。 →関心を高めることは課題である。要望があれば出向いて意見交換に応じる。 ●これから結婚する世代にも参加して欲しい。結婚・定住と子育て・教育環境は関連する。 ●PTAで意見交換を行った方が参加が多く意見交換もしやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●議論のスピードを上げて欲しい。 ●関心が低い。開催方法や周知に工夫が必要。 →関心の程度が出席率に影響しており、園保護者会、PTAの活用を考えていく。 ●関心を持ってもらうためには、「地域から学校が消滅する」くらいの周知でもいいと思う。 ●意見を聴くのは良いが、ある程度決めて押し進めるくらいの気持ちでもいいのでは。 →統合は望む人、反対の人がいるため、慎重に意見交換を重ねたい。 ●6会場で意見交換を行えたことは、新たなまちづくりの第一歩を踏み出したようにも思う。
アンケート・適正配置計画	<ul style="list-style-type: none"> ●アンケートでは子ども達の意見も聞いて欲しい。 ●計画には、どのような内容を盛り込むのか。 →統合する場合は、年度や組合せ等を具体的に盛り込むことを考えている。 				<ul style="list-style-type: none"> ●アンケートで中・高校生からも意見を聞くことができれば、何を感じて地元に残りたいかなどヒントが見つかるかもしれない。 	
学校・学級の小規模化	<ul style="list-style-type: none"> ●学校の小規模化が進んだ場合の課題や活動が制限される具体例は何か。 →運動会、部活、委員会など。 ●小規模小学校の子どもが大規模中学校に進学する場合と比べ、小学校のうちに大規模校と統合する場合のメリット、デメリットは。 →令和2年度に統合した旧中川小学校の子どもと保護者にアンケートをした結果は、統合前は学習や人間関係に不安感があったものの、統合後は様々な活動が楽しく活発になったとの回答が7～8割を占めた。一方、統合後にできなくなった活動を残念に感じている回答もあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもが複式学級により学年での思い出が少なくかわいそうな部分と、異学年の子と仲良く過ごしている嬉しさもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●教科にもよるが、授業は少人数で工夫できることもある。異学年で交わったり、通信授業を行うなどができるのでは。 →異学年交流は良いことであるが、学年によって学ぶ内容が異なるため難しい課題もある。 ●複式学級になれば、隣の音が気になり集中できない心配がある。 ●部活の人数が少なくなり維持も難しくなっている。通学区を自由にしようか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●多人数の中で学ばせたい。競争心を身につけ、切磋琢磨することは大事である。 ●自分の子どもはかつて十数人のクラスで、委員会など役割が多く学業以外の負担が大きいと感じた。多人数の中で学校生活を経験させたかった。 ●複式学級は避けたい。 ●毎日楽しく勉強も遊びも張り切れる学校生活を送らせたい。 ●部活のために学区外へ通学している子もいる。大きい学校なら部活を選択でき、多様な関わりを通じて人間形成できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分は保育園から中学校までエスカレーター式で進み、先生から競争心が少ないと言われ、そう感じたこともある ●小規模な分、親密な関係となることにメリットを感じる部分もある ●部活は部員数を確保できなければ合同チームになることを考えると切ない。 →神代の令和3年度の出生数が5人だったことは衝撃。1つ上の学年と合わせて17人で、ぎりぎり複式とならないが、1人でも転出したり令和4年度の出生数によっては複式学級の可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもをどこに入学させようか考えると、大規模校に入学させたいと思う。 ●複式学級では活動が制限されると思うが、子どもには比較対象が無く良し悪しは分からないと思う。 ●小規模校を存続運営していく非効率さを感じる。インフラを集中させるなど仙北市がモデルケースになればよい。
校舎	<ul style="list-style-type: none"> ●生保内小学校は児童数が維持できたとしても、校舎老朽化により統合が必要となるのか。 →大規模改修の着手を判断するためにも、令和8年度までに計画を策定する。 ●仮に校舎を新築する場合は、どのくらい費用がかかるか。 →参考として、平成20年の角館小学校は約20億円、平成22年の神代小学校は約12億円だった。 ●仮に白岩小学校が廃校になっても、地域の中心施設であることを考慮して欲しい。 →跡地活用は市民と一緒に考えていく。 		<ul style="list-style-type: none"> ●長寿命化計画は、建替える内容か。 →大規模改修であり、着手判断するためにも、令和8年度までに計画を策定する。 ●統合校の新築事例を教えてほしい。 →旧3町村の3校が統合した横手明峰中学校は、二十数億円で新築したようだ。統合時は約500人で、現在の本市全中学生と同数である。神代小学校は12億円、角館小学校は20億円かけた。 ●校舎を維持するため大規模改修に47億円もかけることに疑問を感じる。 →市財政上の大きな課題でもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●廃校となった場合、学校を避難所として残してはどうか。 →跡地活用は一緒に考えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ●安全安心な学校生活を確保して欲しい。現に修繕すべき箇所はすぐ対応して欲しい。 →大規模改修に関しては、着手判断するためにも令和8年度までに計画を策定する。 ●中学校舎は老朽化対策が必要だが、財源も厳しい中どうしたらよいかアンケートなども踏まえ考えたい。 	

内容区分	白岩	松木内	西明寺	生保内	神代	角館
学校統合	<ul style="list-style-type: none"> ●将来の子ども達のためには、老朽化する学校を数十億円かけて大規模改修するよりも、統合校を新設することも考えて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●統合の可能性は平成30年の時よりも高いと感じる。大規模改修を繰り返すのは現実的でないが、かといって統合するにも松木内地区からは通学距離の負担が問題となる。 ●どこに学校を建てるのか（統合するのか）を考えてしまう。バスで片道1時間かけて通学するのは負担が大きいことを含めて考えて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●交通の利便性が良い場所に保育(子ども)園、小学校、中学校を集約して整備し、また、子どものための学校という枠を越え市民も使用できるスポーツ施設なども合わせて整備してはどうか。 ●統合に賛成で早く進めて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●スクールバス等のインフラをしっかりとできれば統合に賛成である。 →令和8年度までに計画策定し、ハード整備が伴う場合はさらに5年程度かかる。また、整備内容は10～20年先を見通したものにする必要がある。 ●校舎の老朽化が進んでいるので、中学校は統合1校にしてはどうか。各地区から等距離の場所に建ててはどうか。小学校もいずれ建てなければならない。市民が平等を感じられるものにしていくことが大事である。 →旧3町村の3校が統合した横手明峰中学校は、二十数億円で新築したようだ。10年前の統合時の生徒数は、現在の仙北市全中学生と同数である。 ●令和27年度に小中合わせて600人となる頃に、神代地区に小中一貫校または義務教育学校を新設してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●校歌を残したい思いがあるが、子どもの減少が続く将来を考えると複雑な気持ちである。 ●小学校舎は新しいが、児童生徒数を考えると存続すべきと強く言えない。 ●児童生徒の減少によって子ども達の様々な活動の選択肢が狭くなっていくため統合の検討も必要と思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●中川小学校保護者として統合を経験した。心配したよりも大人数でいろいろなことができる面で良かったという意見が多い。 ●中川では統合に不安も多く賛否両論あったと思うが、統合して良かったと思っている。 ●現状と課題を踏まえると、統合が見えてくるが、統合するなら早い方がよい。 ●校舎を新設する場合は、子どもの減少率を踏まえれば、子ども達だけの学校ではなく高齢者まで使える新しいスタイルの施設にしてはどうか。 ●統合する場合は保護者自身も相手側を気遣う気持ちが大事である。
通学	<ul style="list-style-type: none"> ●白岩小学校が統合した場合の通学方法はどうか。 →既存のデマンドタクシーが候補の一つと考えられる。公共交通機関で対応できない場合はスクールバスも検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●学校が遠くなると、この地域で子どもを産み育てることに不安も出てくる。 →文科省は通学目安を1時間以内としている。近年統合した学校では約60分かけて通学している例が多数ある。 →スクールバスは夏のノンストップで戸沢から西木庁舎まで30km、40分である。鎧畑～神代小学校間も全く同値。 				
その他 (まちづくり、少子化対策、財政など)	<ul style="list-style-type: none"> ●少子化対策を進めて欲しい。 ●公園整備など子育て・移住・定住環境の向上策も講じて欲しい。 ●直近の3年間の出生数が80人前後に大幅に減っているが要因は何か。 →令和元年度から出生数が大幅に減少しているが、令和元年度はコロナ禍の前の実績であり明確な要因は不明。 	<ul style="list-style-type: none"> ●公園整備、保育時間の延長など子育て・移住・定住環境を向上して欲しい。 ●財政はどのような状況にあるか。 →財政規模や借金返済額が大きく、新たな政策を打ち出しにくい状況にある。 ●ここで育ち地域が大好きで、同じような教育を子どもにできればいいと思う。 ●豊かな自然を活かして、田畑で作物を育てお金を稼ぐ学校を創るなど、移住・定住につなげられないか。 ●建物にお金をかけなくても、バーチャルな学校も可能性の一つでないか。 →夢のある意見だが、現時点では生身の体験に勝ることは難しく、メリット・デメリットを考える必要がある。 		<ul style="list-style-type: none"> ●学校統合はまちづくりの一環として、地域と子ども、地域間のコミュニティ環境も築きながら総合的に進めていく必要がある。 ●子どもを増やす取り組みも進めて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の伝統文化や行事は学校も一緒になって継承していく形にして欲しい。 ●若年層の流出が出生数に影響していると思う。子ども達が地元に残りたいと思える地域にするためにも、働きたいと思える企業を目指したい。企業にできることは協力していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地元の高校では地域課題を研究し改善策をプレゼンする授業がある。テーマにしてもらうのも良いのでは。
教育委員会からの補足説明	<ul style="list-style-type: none"> ■統合する場合は最低約3年かかる。 ■統合有無に関わらず、5年後に全校にコミュニティスクールを設置し、地域の意見を校長が学校経営に反映させる。 ■検討委員会構成員の想定を説明。 	<ul style="list-style-type: none"> ■大規模改修の着手判断のためにも、R8年度までに計画策定する必要がある。 ■統合有無に関わらず、5年後に全校にコミュニティスクールを設置し、地域の意見を校長が学校経営に反映させる。 ■人口減少抑制のために、結婚し子育てしやすい環境づくり、企業誘致にも取り組んでいく。 			<ul style="list-style-type: none"> ■統合有無に関わらず、5年後に全校にコミュニティスクールを設置し、地域の意見を校長が学校経営に反映させる。 ■ヤマメ・サクラマスプロジェクト(=ふるさと・キャリア教育)で、少子化に対して教育委員会ができる取り組みを進めていく。 ■部活動改革は、全県的に話題となっているが、推進には課題が多い。 ■検討委員会構成員の想定を説明。 	<ul style="list-style-type: none"> ■統合有無に関わらず、5年後に全校にコミュニティスクールを設置し、地域の意見を校長が学校経営に反映させる。